

工事名：富山公共下水道いたち川第2処理分区堤町通り二丁目地区下水管改築工事

[ 公共54 ]

記

質問	回答
<p>・本工事費内訳表p14について 発生土処理で、土砂運搬は8m<sup>3</sup>ですが公共用残土仮置場の数量が17m<sup>3</sup>となっています。どのような計算で17m<sup>3</sup>となるのでしょうか？</p>	<p>公共用残土仮置場搬入の数量は、取付管穿孔付帯工における発生土処理(V=8.3m<sup>3</sup>)と、不明柵取付管試掘工における発生土処理(V=8.3m<sup>3</sup>)の合計を計上しています。</p>
<p>・本工事費内訳表p15について 管撤去工で、硬質塩化ビニル管撤去工 呼び径 200mmが10m計上されていますが、図面では撤去する箇所が見当たりません。どこの何の管を撤去するのでしょうか？</p>	<p>準備工で不明柵の取付管を試掘し、道路上に仮の公共柵としてφ200立管(塩ビ)を施工します。管撤去工は、本管更生後に取付管穿孔した後、立管を撤去するものです。</p>
<p>・本工事費内訳表p15について 取付管布設工 VUφ150が6mと計上されていますが、開削による取付管改築の箇所数及び改築範囲について提示願います。</p>	<p>取付管布設工は不明柵8箇所を設置した仮の公共柵を撤去する際、既存の陶管を撤去した後に復旧するものです。詳細については受注者に提示します。</p>
<p>・本工事費内訳表p15について 取付管変換継手 φ150 TP→VUが16個計上されていますが、開削による取付管の改築が16箇所あるということでしょうか？</p>	<p>不明柵取付管試掘工及び取付管穿孔付帯工において布設するVU管と既存の陶管(両側)を接続するため8箇所分(16個)の変換継手を計上しています。</p>
<p>・本工事費内訳表p16について 上層路盤の路盤工で、歩道+インターと明記されていますが、施工 第0-0045号表では路盤工のみの施工内訳となっています。インターロッキングの設置は不要なのでしょうか？</p>	<p>インターロッキングの撤去・再設置については、不明柵取付管試掘工において計上しています。</p>
<p>・本工事費内訳表p16について 路盤工6m<sup>2</sup>に対して表層1m<sup>2</sup>となっています。なぜ1m<sup>2</sup>となるのでしょうか？</p>	<p>インターロッキング部(1339-1、1339-2)の7箇所分の路盤工が5m<sup>2</sup>、歩道舗装部(1317-1)の1箇所分の路盤工が1m<sup>2</sup>となります。</p>
<p>・施工内訳表p74について インターロッキングブロック撤去(再設置)と記載されていますが、施工内訳表では、再使用目的の撤去の手間しか計上されていないように思えます。条件では撤去及び再設置が選択されていますが、再設置の手間も含まれているのでしょうか？</p>	<p>再設置の費用も計上しています。</p>
<p>・施工内訳表p74について 取付管布設工 VU200 10mが記載されていますが、取付管は陶管φ150です。試掘した後、VU200をどのように布設するのでしょうか？また試掘する意味は、取付管が本管に接続されていることを確認するためとの認識で宜しいのでしょうか？</p>	<p>VUφ200の塩ビ布設工は、試掘時に仮の公共柵として立管を布設するものです。詳細については、受注者と協議します。</p>
<p>・平面図・縦断面図・横断面図(1339-1、1339-2)について 1339-2横断面図で、取付管更生する管は青実線で明示していますが、1339-1横断面図では黒実線で明示されています。図面を見る限り、本管がCABボックスの真下に入り、また埋設物もあることから、埋設物の移設なしでの開削による取付管改築は困難を極めると思われます。他の取付管も管更生の対象とならないのでしょうか？</p>	<p>1339-1の取付管は、改築対象外です。(図面黒実線) 1339-2の取付管のうち公共柵がある1箇所については、改築対象です。(図面青実線)</p>

<p>・平面図・縦断面図・横断面図(1317-1)について M1317-1について、特殊ポンプ2台と記載してありますが、マンホール及び管内に何か設備等有りますか？</p>	<p>図面1317-1の「特殊ポンプ2台」は誤表記であり、マンホール及び管内に設備等はありません。 なお、図面の該当箇所を差替えました。変更後の仕様書は電子入札システムに揭示(ZIPファイル名の最後がnewになっています)してありますので、お手数ですが、再度ダウンロードしてご確認いただきますようお願いいたします。</p>
<p>・現場について 前処理工について、止水(浸入水)はどの程度でしょうか？また浸入水の場所(目地、取付管口、クラック等)は確認済なのでしょうか？</p>	<p>浸入水の程度については、受注後に貸与するカメラ調査結果及び受注者が実施する事前調査で確認してください。</p>
<p>・現場について 本管の水深及び流量について、既設管の水深は何センチ程度でしょうか？また流速はどの程度でしょうか？時間帯、時期で水位は変わりますか？</p>	<p>本管の水位や流量については、時間帯で変わります。詳細については、受注後現地調査で確認してください。</p>
<p>・現場について 取付管不明桝有について、掘削した箇所に仮設桝等は設置可能ですか？穿孔作業は外部穿孔機を使用するため汚水桝(取付管)が必要になります。また取付管内に穿孔機等が通過できない異常(段差等)がある場合、布設替えは可能でしょうか？また常時(昼夜)水替えが必要ですが可能でしょうか？</p>	<p>仮の公共桝設置は計上してあります。取付管に段差等があり穿孔できない場合は、受注者と協議します。</p>
	